

在マレーシア卒業生イベント開催

大学院工学研究院機械知能工学研究系 教授

神谷 亨（電計H6）

Look East Policy (LEP) 40周年を記念して、令和4年12月4日にクアラルンプール市内のホテルでマレーシア同窓会イベントが開催されました。式場には、在マレーシア日本大使館の公使並びに書記官もご臨席され、ご挨拶されました。また、三谷学長とマレーシア人卒業生との意見交換や交流が行われました。

1982年にスタートしましたLEP政策により、多くのマレーシア人留学生が来日し、留学後は日本とマレーシアとの架け橋として様々な分野で活躍しています。本学はこれまで140名以上のマレーシア人卒業生を輩出しており、産業界は勿論、高等教育機関や政府関連の機関で活躍されているOB・OGも多く、近年では留学生のみならず、短期訪問の学生を受け入れており、プトラ大学（UPM）だけでも100名近くの短期訪問の学生を毎年受け入れています。

同窓会イベントには、帰国後マ

レーシアで活躍されているOB・OGを含む57名が参加され、6名の卒業生による九州工業大学での思い出や近況報告などが行われました。6名による発表会では、在学時代の多くの思い出話や、明専会からの資金援助による国際会議での成果発表の報告・お礼の言葉が述べられました。また、国際本部の若林課長からは九州工業大学の国際化・国際交流活動の現状報告がなされ、OB・OGへの「九州工大のグローバル化」への取り組みなどを説明し、理解を深めました。

今回のイベントは、多方面で活躍している卒業生と本学のネットワークが強化できた有意義な機会となり、マレーシア人卒業生の最新名簿も作成できたことから、今後の卒業生とのネットワークの拡大に活用でき、マレーシア学友会の今後の活動に期待できると思われれます。



OGによる近況報告



シャズワニさんの司会の様子



集合写真（最前列の左から3人目が筆者）